

すべての子どもを支える社会をつくる

エファジャパン年次報告書 2013

ご挨拶



実り多い2013年度をみなさまのご支援により無事終えることができましたことを、深く感謝申し上げます。この1年の活動の成果を、ここにご報告いたします。

2013年度は、将来に向けた基礎固めとなるような動きがいくつかありました。ベトナムでの障がい児支援の実施機関となるハイフォン市児童ソーシャルワークセンターへの支援を開始したほか、障がい児支援の担当部署であるハイフォン市労働傷病兵社会福祉局の副局長が自治労の招きにより来日し、障がい児福祉施策研修が行なわれました。ラオスではラオス図書館協会の要請により、図書館業務に携わる人材を育成するラオス国立大学図書館学コースへの支援も実施しました。また事務局では、寄付に対する税の優遇を受けることができる「認定」の取得に向け会計基準を変更しています。

この1年での取り組みが、これから少しずつ実を結んでいくことを確信しつつ、それを確実なものとするためにも、子ども達の行く末を見据えた支援を続けていくことが、重要であると考えております。

さて、この誌面で私がみなさまにご挨拶申し上げるのも、今回が最後となります。2004年の団体設立以来、約10年に渡り代表としてみなさまと共に歩んで参りましたが、このたび理事長職を退き、今後はエファジャパン顧問として団体の活動を応援していくこととなりました。これまで活動を通してたくさんの支援者のみなさまにお会いできた幸運と、いただいてきた数え切れない温かいお気持ちに心よりの感謝を申し上げますとともに、みなさまには今後代表としてその力を発揮していただく伊藤道雄新理事長と一緒に、エファジャパンと支援地の子ども達を見守り、支えていただけますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン
理事長 イーデス ハンソン

— 目 次 —

ご挨拶	2	カンボジア	8～9
2013年度活動ハイライト	3	タイ	10
エファジャパンの組織	3	エファグッズ	10
ベトナム	4～5	国内事業	11～12
ラオス	6～7	会計資料	13～19

2013 年度活動ハイライト

・・・国内事業・・・

- ・団体紹介 DVD 制作
- ・エファジャパン設立 10 周年記念カレンダー 2014 制作、販売

・・・海外事業・・・

・ラオス ドンクワイ村コミュニティ図書館建設

自治労青森県本部のご支援により、2013 年 12 月に新たにコミュニティ図書館を建設。ドンクワイ村は近隣に図書館（室）が無いことに加え、建設に際して労働力の提供があるなど自主的に関わる意思があることなどから支援先として決定。

・ベトナム ハイフォン市障がい児担当行政官招聘研修

今後のベトナム障がい児支援を円滑に進めるため自治労本部が実施した、ハイフォン市で障がい児施策を所管する労働傷病兵社会福祉局副局長の招聘研修に協力。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員…166 人
シニア会員…33 人
賛助会員個人…43 人
賛助会員団体…40 団体

総会

(正会員で構成)

- ・エファパートナー
- ・一般寄付者（個人）
- ・一般寄付者（団体）
- ・事業指定寄付者（個人・団体）
(ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ようちえん募金、
荒川さん募金、書き損じハガキ・古本リサイクル募金、
他)
- ・ボランティア
(事務局ボランティア・デザインボランティア)

理事会

理事長	イーデス・ハンソン
副理事長	植本 眞砂子
理事	青木 真理子
理事	伊藤 道雄
理事	大石 芳野
理事	大島 芳雄
理事	上條 直美
理事	川本 淳
理事	木下 究
理事	高橋 睦子
理事	玉井 一匡
理事	千田 真
監事	山形 昌弘

事務局

事務局長	大島 芳雄
国内事業	五十嵐 香織
広報	宮原 朝香
ベトナム駐在	崎川 勝志

2014 年 3 月 31 日 時点

ベトナム Viet Nam

ベトナム概況

・支援が必要な背景

ハイフォン市では社会福祉制度がまだ整備されておらず、経済発展の裏で以前には見られなかった今日的な社会問題が顕在化してきています。特に経済発展の恩恵から取り残されている障がい児や貧困層の子ども達に対する支援の重要性が高まっています。

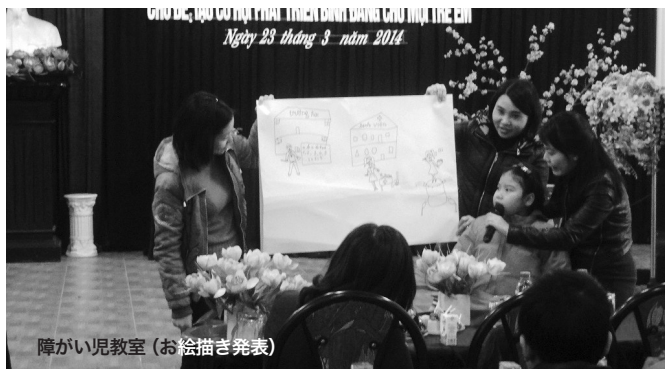
・支援の目標、目的

経済発展の恩恵を受けられず、ハイフォン市政府の支援も行き届かない障がい児や困難な状況にある子ども達を支援し、教育を受ける権利と発達する権利の実現をめざします。

ハイフォン市障がい児支援

■障がい児教室支援

ハイフォン市には盲学校や聾学校が市内の中心部にあり、これらの学校では知的障がい児や発達障がい児も受け入れています。しかし、交通機関の発達していないベトナムでは、郊外や農村の障がい児達はこれらの教育を受ける機会がありません。そこで、エファジャパンはこれらの障がい児にも教育を受ける権利や発達する権利を保障するため、地域密着型の支援としてハイフォン市の各地に設置されている障がい児教室を支援しています。



障がい児教室（お絵描き発表）

2013年4月には株式会社フェリシモ様のご支援を頂き、ハイフォン市にある3つの障がい児教室と郊外の村の診療所（現在は障がい児教室を新たに設置）及び文化会館（日本で言う公民館）の5カ所におもちゃ図書館を設置しました。障がい児を主な利用対象者としたおもちゃ図書館は日本全国の公民館や福祉センターなどでも約500カ所に設置されており、上手に遊ぶことができない障がい児が楽しみながら遊ぶことを通して身体面のリハビリ効果だけでなく、情緒面や知育面での発達を



おもちゃ図書館

を促す効果があるとされています。今回ハイフォン市に設置した5つのおもちゃ図書館では、一旦子ども達がおもちゃを使い始めると帰るのを渋ったり、同伴で

来た保護者同士が情報交換しあったりと、障がい児と保護者にとって憩いの場となりつつあります。

また2014年1月からは連合愛のカンパの支援を頂き、3つの障がい児教室の活動支援を始めました。これにより、新たな障がい児教室が設置されたり、活動の回数が増えたり、活動対象とする児童の受け入れ年齢幅が広げられたりと、これまでになく活発な活動が行なわれるようになっていきます。

■ハイフォン市労働傷病兵社会福祉局副局长招聘研修

エファジャパンはハイフォン市で労働傷病兵社会福祉局と児童ソーシャルワークセンターを協力機関とし、障がい児支援を行なっています。しかし、日本とベトナムでは障がい児支援に関する概念や実施方法が異なる面があります。ハイフォン市の現場で障がい児支援を行なう際には、そのギャップを埋めて意思統一を図ることで初めて効果的な支援を実施できることがこれまでの経験から分かってきました。そこで2014年2月、自治労による招聘研修事業で、ハイフォン市労働傷病兵社会福祉局副局长と児童ソーシャルワークセンター長を兼務しているグエン・ティ・タム氏を日本に招聘し、日本の障がい児政策や保護者会の活動などに関する5つの講義と、都内8つの障がい児関連施設の視察を実施しました。

タム氏はハイフォン市に戻ってから、日本で視察した多様な形態の障がい児支援の具体例に度々言及しながら今後の支援計画を検討するなど、障がい児支援について自治労、エファジャパンの考え方と、ハイフォン市側との考え方が以前よりも近づいたことが実感できます。



調布市障がい児センター視察

児童ソーシャルワークセンター支援

1995年に自治労が設立した児童保護施設ベトナム(ニエムギア)子どもの家が、2012年8月にハイフォン市全域の子どもを対象にした貧困や虐待、HIV、麻薬、障がいなどの問題に取り組む児童ソーシャルワークセンターに改編されました。活動開始までの準備期間を経て2013年12月から本格的な活動を開始したのに伴い、エファジャパンは当センターの活動支援を始めました。2014年1月と3月には、エファジャパンの支援により当センターの職員が、軽犯罪を犯した子ども達が生活

しながら学んでいるハイフォン市ニンビン第二教養学校で、窃盗や万引きをして捕まった子ども達に心のケアや再発防止のためのカウンセリングを行ない、子ども達が家庭に戻り元の生活を取り戻すための取り組みを実施しました。今後はハイフォン市の3つの地域で、経済発展から取り残され困難な状況に置かれた子ども達を対象とした支援プログラムを、当センターと協力し実施していきます。

アジア子どもの家奨学金基金

1999年に自治労栃木県本部が500万円をハイフォン市に委託し、その利子を運用して奨学金事業を開始しました。2013年度は自治労栃木県本部からのご支援で、本奨学金基金の預金額をさらに増額して頂きました。本奨学金基金はハイフォン市児童保護基金が管理し、恵まれない家庭環境にありながら優秀な学業成績を収めた子ども達に奨学金を支給しています。2013年度は計100名に1人当たり70万ドン(約3,500円)の奨学金と10万ドン(約500円)のギフトを支給しました。



その他の活動

■自転車・車椅子寄贈

書き損じハガキの収集による寄付で、ハイフォン市ティエンラン郡とビンバオ郡の障がい児16名に自転車を、5名に車椅子を寄贈しました。自転車は、軽度の障がい児は自分で運転することができ、重度の障がい児は保護者が運転し子どもを乗せ



て出掛ける際に使います。車椅子は一人で歩くことが困難な障がい児に寄贈しました。これにより障がい児達の外出する機会が増え、地域社会に溶け込むきっかけとなることが期待されます。

■心臓病乳児の手術代支援

ハイフォン市には手術により回復可能な障がいを抱えているにもかかわらず、経済的理由で手術を受けることのできない障がい児が少なくありません。エファジャパンはハイフォン市政府の要請を受け、心臓病を抱える乳児1名の手術代を補助しました。ハノイの病院で手術を受けたこの乳児は一命を取り留め、容態も回復しました。

ベトナム事業の今後

児童ソーシャルワークセンターと協力し、経済発展から取り残され困難な状況にある子ども達を支援していきます。障がい児教室では活動の種類や回数を増やすとともに、保護者への研修や地域での障がい児啓発活動を実施し、障がい児の発達する権利の実現をめざします。

ラオス Laos

ラオス概況

・支援が必要な背景

ラオスでは、小中学校の約 10% にしか図書館・図書室が設置されていないうえ、政府による公共図書館への支援も限られています。また、これらの図書館・図書室のサービスの質を全体的に改善するには、全国組織であるラオス図書館協会の活動機能を強化することが重要です。子ども文化センター（CCC）は、ラオス政府からの支援は職員と光熱費しかなく、活発な活動を継続していくためには外部からの支援が不可欠です。

・支援の目標、目的

図書館の設置、本の寄贈、ラオス図書館協会への支援を通して、ラオスの図書館サービスの量的拡大、質的向上をめざします。CCC では以前支援した活動のフォローアップを行ない、活発な活動が継続できるようにします。

図書館事業

■図書館概況

ラオスの多くの地域には図書館・図書室がなく、都市部以外は本を売っている店也没有。そのため、多くの子ども達は教科書以外の本に触れる機会がありません。また、運営や管理の方法について十分な助言・支援を得ることができず、孤立している図書館・図書室も少なくありません。

■ヴィエンチャン市立図書館・多目的ホール支援

2006 年に完成したヴィエンチャン市立図書館は開館から 7 年が過ぎ、多くのヴィエンチャン市民にラオスで最も綺麗で居心地が良く、蔵書数も多く、開館時間の長い図書館として利用され、隣接する多目的ホールは子ども達のためのイベントや課外活動、会議場として使われています。まだ外部からの支援なしでは運営ができないため、自治労東海地区連絡協議会から備品・文房具代や超過勤務手当など運営に必要なご支援を頂きました。また、新しい本を購入する資金がないため、書き損じハガキ収集による支援で、279 冊の本を寄贈しました。

■コミュニティ図書館支援

自治労新潟県本部のご支援で 2010 年に設立されたタートン村コミュニティ図書館は、新潟県本部の継続支援により備品や文房具、本の新規購入の他、近隣小学校への出張読書推進活動などを行なっています。また、自治労静岡県本部のご支援により 2010 年に設立されたノンセンチャン村コミュニティ図書館へ、静岡県中東遠総合医療センター職員労働組合から本が寄贈されました。さらに、個人の方の寄付金でラオス各地の小中学校の一室に設置したコミュニティ図書室 24 カ所の使用状況をモニタリングし、新しい本の購入・寄贈を行ないました。

■ドンクワイ村コミュニティ図書館設立

自治労青森県本部のご支援で、ヴィエンチャン都郊外



のドンクワイ村小学校の敷地内にコミュニティ図書館を設立しました。今回の事業は、青森県下の組合員のうち 2,000 人から 500

円ずつの寄付を集めることを目標に活動し、建設に必要な 100 万円に近い金額を集めることで実現しました。

■ラオス図書館協会支援

ラオス図書館協会は国内の図書館・図書室を束ね、ラオス全体の図書館サービスの向上を目的として 2007 年に設立されました。しかし、ラオスの図書館界の有能な人材で構成されるこの全国組織も、設立後は政府からの資金援助がほとんどないまま活動があまり行なわれていませんでした。そこでエファジャパンは 2011 年 10 月からラオス図書館協会の支援を始め、2013 年度は蔵書・文献の保管に関するワークショップの開催、ラオス図書館協会理事選出のための選挙実施、協会機関誌の発行、ラオス国立大学図書館学コースへの参考書の寄贈、地方での図書館調査、国際会議参加の旅費、協会スタッフの人件費の補填を支援しました。ラオス図書館協会の活動が活発になったことで、ラオスの図書館界の発展に少しずつ影響を及ぼしつつあります。



ワークショップの様子

地方子ども文化センター支援事業

■子ども文化センター（CCC）概況

自治労の支援により、1996年に初めてラオスの首都ヴィエンチャン都に設立された子ども文化センター（CCC）は、日本の児童館のような施設です。現在ではラオス政府もその重要性を認識し、ラオスの全17県に設置されるに至っていますが、活動資金が十分ではなく、満足な活動をできないCCCも少なくありません。

■カムワン県・シェンクワン県 CCC

カムワン県 CCC とシェンクワン県 CCC は自治労大分県本部のご支援により、2008年1月～2011年12月の間、職員やジュニアリーダー（JL: 年少の子ども達をリードし、先生の補佐をする CCC の年長の子どもボランティア）を対象とした活動研修や活動用具の寄贈を行いました。しかし、支援が終了した後は、寄贈



した活動用具が壊れたり、全て使い切ったりしたことで、一部の活動が停滞していました。そこで、職員や JL 達が再び活動用具を使って研修で習ったことを子ども達に実践できるよう、個人の方からの寄付金を頂いて、伝統音楽楽器や文房具、スポーツ用具など新しい活動用具を購入・寄贈しました。

■ルアンパバン県 CCC

自治労佐賀県本部には10年近くの間、ルアンパバン県 CCC の活動を支援していただいています。2013年度は、CCC で活動する子どもの人数が増えてきたこともあり、古くなった伝統楽器を補充するために、ラオスの太鼓や笛など伝統楽器一式を購入・寄贈していただきました。CCC での活動以外にも地域の催しや祭りなどで、子ども達がこれらの伝統楽器を使った演奏や舞踊を披露しています。

■セコン県 CCC

セコン県 CCC はエファジャパンが2010年に日本政府外務省 NGO 連携無償資金を得て設立した CCC です。支援終了から3年が経過し、以前寄贈した活動用具の一部を使いきってしまっていることから、書き損じハガキ収集による支援で文房具やスポーツ用具、舞踊用装飾品などの活動用具を寄贈しました。

その他の活動

■少数民族学校支援（カムワン県）

カムワン県少数民族学校は、貧困や保護者がいないなどの理由で家庭から学校に通えない子ども達が、政府の支援により学んでいる全寮制の学校です。ここの生徒達は十分な学用品を購入する経済的余裕がなく、政府からの援助も不足しています。そこで自治労九州地区連絡協議会からのご支援で、学校にデスクトップパソコン2台やスポーツ用具の他、生徒346名にノート、ペン、鉛筆などの学用品を寄贈しました。



ラオス事業の今後

図書館事業では、ヴィエンチャン市立図書館の運営の自立化を進めていきます。コミュニティ図書館（室）はモニタリングや新しい本の寄贈を継続します。ラオス図書館協会支援では全国組織としての強みを生かした活動を行ないながら、全国の図書館（室）のサービス向上をめざします。CCC の事業では、活動の規模が縮小しつつあるセコン県 CCC のフォローアップ支援に重点を置き、研修や活動用具の寄贈の他、運営の長期計画を作成します。

カンボジア Cambodia

カンボジア概況

・支援が必要な背景

波尔・ポト政権の恐怖政治によって社会システムが崩壊したこの国は、人材の養成が急務です。しかしながら、偏った経済成長により大都会と地方、また住民間の貧富の格差が広がり、都会のスラムや僻地では教育を受けることができない子ども達が未だに存在します。

・支援の目標、目的

教育を受ける権利は、全ての子どもに保障されなければなりません。「中央から地方へ」、より多くの子ども達に教育の機会を提供すると同時に、教育の質の向上をめざします。

ノンフォーマル教育（寺子屋教室）運営支援

■ SCADP（スカップ）

カンボジアの市民団体 SCADP（Street Children Assistance and Development Programme: ストリートチルドレンの支援と育成事業）は、1992年に創設者のイム・ソカリ女史がプノンペンでひとりのストリートチルドレンと出会い、その子にノートと鉛筆をあげて読み書きを教え始めたことから、活動が始まりました。その後、1998年に内務省から正式な市民団体として認可を受け、現在では教育事業を中心に首都プノンペンと地方7県で活動しています。

エファジャパンは、2007年度から SCADP をパートナーとして、カンボジアで事業を展開しています。

■ 寺子屋教室

10月の新学期から、SCADPが運営するプノンペン市内のスラム2カ所（登録児童114人）と隣県カンダールの村1カ所（登録児童111人）の寺子屋教室で、これまで通り小学校に通っていない子ども達に学用品を支給し、教員には給与を支払い、教室運営を支援しています。授業は午前と午後の2部制で、読み書き、計算、保健衛生、健全な社会生活を送るための知識などを前年度に支給した教科書を全員に貸し出して教えています。



これまでプノンペンには3カ所に教室がありましたが、住民の転出で生徒数が少なくなったことなどを理由に1カ所を10月に閉鎖しました。市内の教室の評価・

整理を行ない、僻地へ教育支援の重点を移す予定です。

■ 国境地帯の子どもの教育支援

世界遺産である寺院遺跡周辺を巡りタイ軍とカンボジア軍の武力衝突が起こったカンボジア北部プレアビヒア県の国境地帯では、緊張状態が緩和され、ホテルやレストラン建設などの観光開発が進んでいます。

内戦から近年の国境紛争に至る間に、多くの兵士が動員され、家族と一緒に生活したり、除隊後に定住しています。ほとんどの居住地が森の中にあるので、子ども達は公立の学校に通うことができません。



SCADPは、この国境地帯で寺子屋教室を13カ所運営しています。登録児童数は897人。生徒の学用品や教室の備品・教材もほとんど無い状態であったため、2011年度から生徒への学用品支給や教室への備品・教材の配布を行なってきました。

2013年度には、自治労近畿地区連絡協議会の結成60周年記念事業で、授業で使う教科書（国語と算数）を登録児童全員へ支援していただきました。

国立幼稚園教員養成学校に聴講生として派遣した寺子屋教室教員1人が卒業して、1教室で教えています。前年度にも1人卒業して、別の教室で教えています。ほとんどの寺子屋教室教員が高校までしか修了していないため、専門教育を受けたこの2人は貴重な存在です。

SCADP 支援

■ SCADP 児童保護施設

SCADP のプノンペン本部とプレアビヒアのセンターには、様々な理由で保護者と生活できない子どもが合計 80～90 人生活しています。子ども達は、そこで共同生活を送りながら、近所の公立学校や本部の就学前教育教室に参加しています。健康な生活を維持するため、石鹸・洗剤・歯ブラシ・歯磨きなどの日用品を随時支援しました。

■ SCADP 就学前教育

SCADP の本部では、近隣スラムの就学前児童を集めて教育の機会を提供しています。8 月からは、国立幼稚園教員養成学校で聴講生として 2 年間の研修を終えた職員が教えています。知育玩具を支給し、教員研修を行ったため、教育環境と教育内容が向上しました。

■ 書き損じハガキでの支援

SCADP の保護施設出身で現在大学生の 2 名に、大学を卒業後いずれは SCADP の運営に関わる人材となるよう、奨学金を支給しています。書き損じハガキ収集による支援として、2 人の通学および事業のモニタリングに利用するオートバイ 2 台とヘルメット 2 個を寄贈しました。さらに国境地帯にある保護施設へ、子ども達の通学用自転車や台所用用品などを贈りました。



寄贈した通学用自転車

カンボジア子どもの家奨学金事業

■ 子どもの家概況

1997 年に、自治労の支援によって、首都プノンペンに国立幼稚園教員養成学校および附属幼稚園として設立されました。養成学校は 2 年制で、1 年生 200 名、2 年生 200 名、合計 400 名が学んでいます。カンボジア唯一の幼稚園教員養成の場であり、国全体の幼児教育と保育に大きく貢献しています。

日本大使館の援助で新築された附属幼稚園には、90 人余りの幼児が通園しています。

■ 奨学金事業

7 月まで、スラムの園児 30 名と貧しい地方出身の訓練生 25 名に月 25 ドルの奨学金を 10 カ月間支給しました。10 月の新学期からは、訓練生 25 名にのみ月 25 ドルの奨学金を支給しています。

園児への奨学金を終了した理由は、プノンペン中心部におけるスラム人口の減少と教育機会の増加、また僻地への教育支援により多くの資金を配分するためです。



奨学生たち

■ 保育士による技術指導ボランティア

公立保育園の元保育士、荒川智子氏は国立幼稚園教員養成学校で毎年保育指導のボランティアをしています。2013 年度は 5 月に 2 週間、1 年生にはパネルシアター、2 年生にはエプロンシアターの製作を直接指導しました。荒川氏の活動を応援するため、助成金を支給しています。

カンボジア事業の今後

寺子屋教室運営に関しては、「中央から地方へ」の事業方針に基づき、より多くの子ども達に教育を受ける権利を実現するため、首都プノンペンから国境地帯へ支援の重点を移します。子どもの家奨学金事業は、園児への奨学金を終了しましたが、幼稚園教員訓練生への奨学金は、就学前教育の地方への波及効果が大きいため継続します。同時に荒川智子保育士の活動も、養成学校での教育内容向上のため助成を続けます。

タイ Thailand

パラミ・ラーニングセンター支援

■ミャンマー概況

2011年3月に文民政権が発足し、軍事政権から民政移管が実現、今後の経済発展へ期待が高まっています。ビルマ労働組合連盟（FTUB）はミャンマー労働組合連盟（FTUM）と改名し、ミャンマー国内で組織の拡大に努めています。

■パラミ・ラーニングセンター支援

パラミ・ラーニングセンターは、FTUBが1999年にタイのターク県メーソットに設立した、ミャンマーからの移住労働者の子どものための教育施設で、約560人の子ども達が学んでいます。



この施設は、子ども達が犯罪に巻き込まれることや、児童労働に従事することから守り、受入国であるタイの文化を理解することを目的にしています。

自治労大阪府本部は2011年2月から施設整備や教材補充などの支援を実施してきましたが、2013年11月に生徒の通学に使用する中型トラックを贈呈し、支援を終えました。この車両のおかげで、一度に運べる生徒数が増えたため、全生徒の送迎時間が短縮されると同時に、これまでの通学用小型トラックのレンタル料も削減されています。エファジャパンは、現場における調整役を担いました。



エファグッズ

エファジャパンでは、ベトナムとラオスで製作された雑貨をエファグッズとして販売しています。

ベトナム子どもの家で職業訓練の一環として製作されていたグッズは、子どもの家が改編されたため生産が終了し、在庫限りの販売となります。（自治労布袋は子どもの家の卒業生などが製作を継続しました。）

ラオスの雑貨は、フランスのNGOであるフレンズ・インターナショナルが、貧困家庭の親への職業訓練及び家計向上のためラオスで実施している事業により製作さ

れています。製品を購入することで、貧困家庭の家計を安定させ、子どもが路上に出るのを防ぐとともに教育を受ける機会を守ります。

また、入荷が不定期であるためホームページには掲載していませんが、ベトナムとカンボジアで障がい者を支援する団体の手作り雑貨を仕入れて販売しています。こちらは主にイベント・集会などでエファジャパンが直接、あるいは支援団体みなさまにエファグッズを販売していただく際に、在庫状況により選んでいただけます。

【収支】

収入	エファグッズ	249,900	支出	仕入れ、輸送経費、雑費等	3,573,104
	自治労布袋	3,013,800			
収入合計		3,263,700	支出合計		3,573,104
		利益			-309,404

国内事業

集会・学習会

■理事長イーデス・ハンソン講演会（4/25・大阪）

大阪市学校給食調理員労働組合の支部全体会にて、理事長イーデス・ハンソンが講演を行ないました。エファジャパンの取り組みについて紹介するほか、「食の大切さ」や「子どもの命を育む」というテーマについてお話をさせていただきました。当日は小学校・特別支援学校の給食調理員として働く組合員約 600 名にご参加いただき、好評のもと終了しました。

■子ども子育て支援に関する学習会（9/30、10/8・東京）

昨年度に引き続き、日本国内の子どもの権利を守る啓

発活動の一環として、特定非営利活動法人子どもすこやかサポートネットと協働で学習会を実施。同法人代表理事の田沢茂之氏を下記集会に講師派遣しました。

- ・連合三多摩ブロック地域協議会 子どもを守るネットワーク学習会（9月30日・東京）
- ・連合三多摩ブロック地域協議会 政策・制度討論集会分科会（10月8日・東京）

■その他イベント・集会

- ・NTT労働組合児童労働撲滅キャンペーン（6/22・横浜）
- ・自治労第86回定期大会（8/26～28・大阪） 他

スタディツアー

12月15日から19日にかけて、カンボジア・スタディツアーを実施し、8名が参加しました。

エファがカンボジアの市民団体と共同で運営している、カンダールの村の寺子屋1カ所とプ



ノンベン市内の寺子屋2カ所で授業を参観し、団体の事務所兼児童保護施設で、施設の子も達が日頃練習している伝統舞踊を鑑賞しました。

また、自治労が設立40周年を記念して1997年に設立した国立幼稚園教員養成学校及び付属幼稚園（カンボジア子どもの家）を訪れ、設立当初に日本で研修を受けた副校長と懇談し、施設を見学しました。その後アンコールワット遺跡群を観光し、ツアーを終えました。

ボランティア

毎月1回最終木曜日のエファボラ（エファジャパンボランティアデー）では、エファグッズや布袋の仕分け梱包、ポスターその他の発送準備、書き損じハガキのカウントなどを、ボランティアのみなさんに作業していただ

きました。また、デザインボランティアの方には書き損じハガキや古本リサイクル募金のポスターのほか、自治労布袋（2014年度入荷分）等のデザインでご協力いただきました。

書き損じハガキ・古本リサイクル

■書き損じハガキ収集

2013年度（4月～3月）の合計は874,756円（切手交換後の額面）となりました。未使用切手のご寄付はエファジャパンの通信費のほか、書き損じハガキを交換する際の手数料に使わせていただきました。さらに、テレホンカードなどによる寄付が84,800円となりました。たくさんのご協力、誠にありがとうございました。

また、2013年度中に実施した、2012年度のハガキでの支援は、ヴィエンチャン市立図書館への蔵書寄贈、ベトナムハイフォン市の農村の障がい児への車椅子・自

転車の寄贈など、3カ国5件となりました。詳しくは各国の事業報告をご覧ください。

■古本リサイクル募金-エファジャパンきしゃぼん-

古書買取店の嵯峨野株式会社との提携により、嵯峨野株式会社での古本買取金そのままエファジャパンへの寄付となる古本リサイクル募金は、2013年度83,164円となりました。ご協力ありがとうございました。エファジャパンの自己資金による支援活動に使わせていただきます。

国内事業

広報・その他

■広報誌『えんぱわ』（季刊：第29号～第32号）

エファジャパン会員他支援者のみなさま、関係者、自治労各組織へ送付するほか、全国のボランティアセンター、自治体国際化協会でも一般配布をお願いしています。

【特集】

- ・第29号「ベトナム障がい児の暮らしと支援 ハイフォン市現況調査」
- ・第30号「子ども達が楽しみながら学べる先生に」（カンボジア）
- ・第31号「本の無い村にできた学校図書室」（ラオス）
- ・第32号「カンボジア 就学前の子ども達への支援」

■エファ通信（メールマガジン）

原則として月1回発行しています。バックナンバーはエファジャパンHPにも掲載しています。また、登録・解除もHPから手続き可能です。

■Web ページ

2013年度にはFacebook（フェイスブック）エファジャパン公式ページ、Youtube（ユーチューブ）エファジャパン公式ページを開設した他、Yahoo! ネット募金（ヤフーネット募金）でカンボジア・ブレアビヒアの寺子屋教室支援のための募金も開始しました。（Facebook公式ページの開設に伴い mixi は更新を休止しました。）

その他、イーココロ！や gooddo（グッドゥ）などで団体情報を掲載し、募金を呼びかけています。

■団体紹介 DVD



エファジャパンの活動紹介DVDを2006年に制作して以来6年以上が経過し、その間、エファジャパンでは団体のミッション（使命）を策定し、海外事業も様々な展開するなど、制作当時とは団体の運営状況が大きく変化しました。そこで、現在の支援事業を踏まえつつ、団体のミッションである子どもの権利の実現の観点から、子どもの権利とは何か、エファジャパンがどのような形でそれを実現しようとしているのかを、支援地の映像で紹介する新たなDVDを制作しました。また特典映像として、エファジャパンが活動している3カ国の子

ども達の暮らしの様子をまとめた『子どもの暮らし編』も収録しています。

■自治労通信広告掲載

自治労中央本部のご協力により、年に数回「自治労通信」に広告を掲載していただいています。2013年度は7・8月号でエファジャパン設立10周年記念カレンダー、11・12月号で古本リサイクル募金の広告を掲載していただきました。広告デザインはデザインボランティアの方による制作です。

■自治労プレスリリース

月に1回程度、エファジャパンの最近の活動を一つ取り上げプレスリリースとして自治労各県本部へ配信しています。配信した内容は機関誌やWebサイトへの転載も大歓迎です。

■エファジャパンカレンダー2014 制作・販売

2014年10月に迎えるエファジャパン設立10周年を記念して、2014年のオリジナルカレンダーを制作・販売しました。エファジャパンの理事でもあるフォトジャーナリスト大石芳野氏によるエファジャパン支援地の写真を使った壁掛けカレンダーです。



■企業等との連携

株式会社ハイム化粧品様に「スマイルご縁（5円）活動」でご協力いただいています。ハイム化粧品の「白い石けん」と「はみがきホワイト」の売上1個につき5円がエファジャパンに寄付される取組みです。2013年度は54,000円のご寄付をいただきました。

会計資料

2013 年度決算

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位 : 円)
2014年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	479,758
現 金	334,538	預 り 金	211,505
小口 現金	32,176	未払法人税等	70,000
普通 預金	15,362,207	流動負債 計	761,263
郵便振替口座	12,091,980	【固定負債】	
定期 預金	3,690,000	退職給付引当金	3,507,700
現金・預金 計	31,510,901	固定負債 計	3,507,700
(売上債権)		負債の部合計	4,268,963
未 収 金	314,158	正 味 財 産 の 部	
売上債権 計	314,158	【正味財産】	
(棚卸資産)		前期繰越正味財産額	30,286,681
棚卸 資産	127,039	当期正味財産増減額	537,168
棚卸資産 計	127,039	正味財産 計	30,823,849
(その他流動資産)		正味財産の部合計	30,823,849
前払 費用	335,426		
仮 払 金	336,088		
前払金	1,029,200		
その他流動資産 計	1,700,714		
流動資産合計	33,652,812		
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
敷 金	1,440,000		
投資その他の資産 計	1,440,000		
固定資産合計	1,440,000		
資産の部合計	35,092,812	負債・正味財産の部合計	35,092,812

活動計算書

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	1,932,000	
シニア会員受取会費	192,000	
賛助会員受取会費	450,000	
団体賛助会員受取会費	1,950,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	41,689,741	
【受取助成金等】		
受取助成金	1,200,000	
【事業収益】		
エファグッズ・ベトナム	148,600	
エファグッズ・カンボジア	14,000	
エファグッズ・ラオス	87,300	
ベトナム布袋	3,013,800	
カレンダー	874,400	
【その他収益】		
受取 利息	6,501	
雑収入	32,355	
為替 差益	238,977	
経常収益 計		51,829,674
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	10,241,551	
法定福利費(事業)	26,343	
福利厚生費(事業)	6,843	
人件費計	10,274,737	
(その他経費)		
売上 原価	3,447,535	
プロジェクト費(事業)	14,093,376	
業務委託費(事業)	505,456	
広報費(事業)	605,906	
印刷製本費(事業)	161,478	
会 議 費(事業)	1,690	
新聞図書費(事業)	731	
旅費交通費(事業)	3,153,798	
翻訳通訳費(事業)	13,577	
車 両 費(事業)	34,353	
通信運搬費(事業)	270,571	
消耗品 費(事業)	123,762	
修 繕 費(事業)	8,295	
地代 家賃(事業)	257,607	
保 険 料(事業)	73,073	
諸 会 費(事業)	105,127	
交際費(事業)	67,128	
支払手数料(事業)	115,046	
雑 費(事業)	9,447	
その他経費計	23,047,956	
収益事業費	721,379	
事業費 計		34,044,072
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	5,863,932	
退職給付費用	717,900	
旅費交通費	335,670	
法定福利費	2,207,594	
福利厚生費	24,126	
人件費計	9,149,222	

活動計算書

特定非営利活動法人エフエフジャパン
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 2013年 4月 1日 至 2014年 3月31日

(その他経費)		
印刷製本費	418,652	
会議費	18,003	
旅費交通費	78,400	
通信運搬費	367,226	
消耗品費	167,519	
水道光熱費	402,900	
地代家賃	3,024,000	
広告宣伝費	489,560	
理事会運営費	264,616	
新聞図書費	3,990	
保険料	14,000	
業務委託費	2,157,110	
リース料	387,997	
租税公課	2,250	
支払手数料	232,989	
その他経費計	8,029,212	
管理費計		17,178,434
経常費用計		51,222,506
当期経常増減額		607,168
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		607,168
法人税、住民税及び事業税		70,000
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		537,168
前期繰越正味財産額		30,286,681
次期繰越正味財産額		30,823,849

財務諸表の注記

特定非営利活動法人エファジャパン

2014年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

(2). 引当金の計上基準

退職給付引当金:職員の退職給付に備える為、退職給与規定に基づく自己都合期末要支給額により計上しています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

(単位: 円)

科目	特定非営利事業					その他事業	合計
	ベトナム事業	カンボジア事業	ラオス事業	タイ事業	国内事業	収益事業	
(人件費)							
給料 手当(事業)	2,994,283	1,090,000	1,787,268	160,000	4,210,000		10,241,551
法定福利費(事業)	24,664		1,679				26,343
福利厚生費(事業)	6,843						6,843
人件費計	3,025,790	1,090,000	1,788,947	160,000	4,210,000	0	10,274,737
(その他経費)							
仕入高						3,447,535	3,447,535
プロジェクト費(事業)	2,294,801	3,735,425	4,456,150	3,607,000			14,093,376
業務委託費(事業)	0	56,456			449,000		505,456
広報費(事業)	0	0	10,500		595,406		605,906
印刷製本費(事業)					161,478		161,478
会議費(事業)			1,690				1,690
新聞図書費(事業)		731					731
旅費交通費(事業)	1,066,257	909,037	748,263	160,981	269,260		3,153,798
翻訳通訳費(事業)	3,769	9,808					13,577
車両費(事業)			34,353				34,353
通信運搬費(事業)	40,310	83,780	129,370	2,306	14,805	122,315	392,886
消耗品費(事業)	26,304	20,662	76,796			10,311	134,073
修繕費(事業)	2,649	5,646					8,295
地代家賃(事業)	38,595	219,012					257,607
保険料(事業)			73,073				73,073
諸会費(事業)		4,125	1,002		100,000		105,127
交際費(事業)	6,077		61,051				67,128
支払手数料(事業)	42,000	28,000	38,046	7,000		21,840	136,886
カレンダー印刷費(事業)						561,580	561,580
販売促進費(事業)						2,243	2,243
雑費(事業)			9,447			3,090	12,537
その他経費計	3,520,762	5,072,682	5,639,741	3,777,287	1,589,949	4,168,914	23,769,335
事業費計	6,546,552	6,162,682	7,428,688	3,937,287	5,799,949	4,168,914	34,044,072

財 産 目 録

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位：円)
2014年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	334,538
一般会計	(87,944)
収益事業	(246,594)
小口現金	32,176
普通預金	15,362,207
中央労働金庫	(4,893,175)
三菱東京UFJ	(7,246,611)
ラオス外貨預金	(79,418)
ベトナム外貨預金	(1,037,820)
三菱東京UFJ (収益)	(2,105,183)
郵便振替口座	12,091,980
定期預金	3,690,000
現金・預金 計	31,510,901

(売上債権)

未収金	314,158
売上債権 計	314,158

(棚卸資産)

棚卸資産	127,039
棚卸資産 計	127,039

(その他流動資産)

前払費用	335,426
仮払金	336,088
前払金	1,029,200
その他流動資産 計	1,700,714

流動資産合計

33,652,812

【固定資産】

(投資その他の資産)

敷金	1,440,000
投資その他の資産 計	1,440,000

固定資産合計

1,440,000

資産の部 合計

35,092,812

《負債の部》

【流動負債】

未払金	479,758
預り金	211,505
雇用保険	(59,965)
源泉所得税	(89,140)
住民税	(62,400)
未払法人税等	70,000
流動負債 計	761,263

【固定負債】

退職給付引当金	3,507,700
---------	-----------

固定負債 計

3,507,700

負債の部 合計

4,268,963

正味財産

30,823,849

2014 年度予算

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位:円)

科 目	2013年度決算	予 算 額		備 考
収入の部				
会費			4,750,000	
正会員	1,932,000	2,040,000		¥12,000 × 170名
シニア会員	192,000	210,000		¥6,000 × 35名
賛助会員(個人)	450,000	500,000		¥10,000 × 50口
賛助会員(団体)	1,950,000	2,000,000		¥50,000 × 40口
寄付金			40,500,000	
パートナー(個人)	315,000	300,000		¥3,000 × 100口
パートナー(団体)	1,480,000	1,400,000		¥20,000 × 70口
ベトナム指定	389,605	0		
ラオス指定	3,937,159	3,600,000		
カンボジア指定	1,685,224	2,000,000		
タイ指定	2,320,000	200,000		
一般(無指定)	31,562,753	33,000,000		2014年度交付金など
助成金など			1,800,000	
助成金	1,200,000	1,800,000		連合愛のカンパなど
補助金	0	0		
事業収益			3,200,000	
エファグッズ	249,900	200,000		
ベトナム布袋	3,013,800	3,000,000		
カレンダー	874,400	0		
雑収入	32,355			
受取利息	6,501			
為替差益	238,977			
当期収入合計	51,829,674		50,250,000	

科 目	2013年度決算	予 算 額	
支出の部			
事業費			
海外事業			27,100,000
ベトナム	9,899,632	10,520,000	
ラオス	7,531,878	8,670,000	
カンボジア	6,186,790	7,500,000	
タイ	3,937,287	410,000	
国内事業	6,488,485	6,030,000	6,030,000
事業費合計	34,044,072		33,130,000
管理費			
人件費			11,210,000
給料手当	5,863,932	7,530,000	
退職給付費用	717,900	730,000	
法定福利費	2,207,594	2,530,000	
福利厚生費	24,126	50,000	
旅費交通費	335,670	370,000	
その他経費			7,703,000
地代家賃	3,024,000	3,240,000	
水道光熱費	402,900	420,000	
旅費交通費	78,400	500,000	
通信費	367,226	300,000	
消耗品費	167,519	500,000	
理事会運営費	264,616	200,000	
広報宣伝費	489,560	620,000	
印刷費	418,652	600,000	
リース料	387,997	56,000	
修繕費	0	20,000	
支払手数料	232,989	300,000	
租税公課	2,250	3,000	
研修費	0	20,000	
会議費	18,003	130,000	
新聞図書費	3,990	10,000	
業務委託費	2,157,110	700,000	
保険料	14,000	14,000	
雑費	0	0	
法人税等	70,000	70,000	
管理費合計	17,248,434		18,913,000
当期支出合計	51,292,506		52,043,000
当期収支差額	537,168		-1,793,000

特定非営利活動法人エファジャパン 2013 年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 2014 年 7 月 31 日

〒 102-0074 東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3 階

電話 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

ホームページ <http://www.efa-japan.org>



すべての人々に、^{ちから}力を。